

明聖TOPICS

発行:学校法人 花沢学園 千葉市中央区本千葉町10-23
明聖高等学校 TEL.043(225)5622

URL:http://www.meisei-hs.ac.jp



1月30日(火)に千葉県教育会館大ホールにて、明聖祭(合唱の部)を開催しました。今年度は中野キャンパスの生徒たちも参加し、過去最多の11組での発表となりました。各クラスとも本格的に練習が始まったのは3学期が始まったから。準備期間は短かった



明聖祭 ~合唱の部~

ものの、放課後の教室から歌声が聞こえてくるなど、意欲的に練習に取り組む様子が窺えました。迎えた本番。まずは1年3組の発表からスタートです。自由曲の「カントリーロード」は多くの方が耳にしたことのあるノスタルジックなメロディーです。トップバッターの緊張感がある中で丁寧な歌いきり、会場が和やかな雰囲気になりました。



トップバッターで緊張しました。また女子の人数が少なくて大変でしたが、何とか歌いきることができて良かったと思います。(1・3 芝伊緒里)



続いての発表は2年2組の「君に届け」です。さわやかな曲調で、終盤にソロパートを取り入れる演出も光りました。その次は、1年1組の「RAIN」です。繊細な歌声で映画の世界観を見事に表現していました。続いては3年2組の「home」。最後に伴奏を止めて歌った「ありがとう」のフレーズは感動を誘いました。

舞台上に立ったときにみんなが笑ってくれて緊張がほぐれました。とても楽しく素敵な思い出となりました。(3・2 小籠 由明香)



次の発表は1年4組の「COSMOS」です。圧倒的な音量で力強い歌声を披露し、会場内をおおいに沸かせました。前半戦の最後を任されたのは2年3組の「渡月橋」君想ふ」。一体感のある美しいハーモニーで観客を魅了しました。10分間の休憩を挟み、後半の部は2年1組の「君をのせて」で始まりました。サビに向けて徐々に盛り上がりつついく立体感のある演奏でした。続いては3年1組の「証」。3年生らしい洗練された歌声が響き渡りました。次は、中野キャンパスの「あの素晴らしい愛をもう一度」です。途中でテンポや曲調を変化させ、聴衆を楽しませました。

今年で一番成長できた行事でした。本気で真剣に練習したからこそ、とても良い思い出になりました。(1・A 永井美里)

1年2組の「花は咲く」は生徒たちの一生懸命に歌う姿が曲と絶妙にマッチしていました。そして、今年度の合唱の部の大トリを務めたのは3年3組です。「あなたへ」旅立ちに寄せるメッセージ」では、3年間の集大成として力を出し切り、自分たちの想いを会場に届けようという強い決意が感じられるような歌声でした。11組の演奏が終わり、結果発表の時間です。3回目の合唱の部は、金賞1年4組、銀賞2年3組、特別賞2年1組となりました。昨年に引き続き、1年生が金賞を獲得するという快挙を成し遂げました。

クラスが丸となって努力した結果、金賞を頂けて本当に嬉しいです。本番に向けて共に頑張っていく中で、改めてクラスの団結力を感じました。(1・4 小原そよか)

銀賞を取れてとても嬉しかったです。緊張して少し間違えた部分もありましたが、楽しむことができて良かったです。(2・3 宇都宮陸)

銀賞



金賞



特別賞



回を追うごとに演奏のレベルは着実に上がっています。また、委員長を中心とした実行委員の活躍もあり、非常に円滑に合唱の部を進行できました。

実行委員長として、去年までの経験を生かすよう心掛けました。賞を取ることはできませんでしたが、仲間の大切さを改めて学び、自分としては最高の歌を歌うことができました。
(3・3 木原 健太)

来年度も聴く人の心を鷲掴みにするような歌声をクラスの仲間と協力して磨き上げましょう。

平成29年度明聖祭
合唱の部

- 金賞 1年4組
- 銀賞 2年3組
- 特別賞 2年1組
- 優秀指揮者賞
1年1組 齊藤 怜那
- 3年3組 眞壁 夏妃
- 優秀伴奏者賞
1年3組 渡邊 さくら



実行委員、おつかれさまでした

そして、この合唱の部をもって今年度の明聖祭がすべて終了しました。文化、球技、合唱の三つの部を通して見事総合優勝に輝いたのは3年1組でした。3年1組の皆さん、本当におめでとうございませう。
一年を通して取り組んできた明聖祭で各クラス感じた喜びや悔しさを胸に、来年度もさらに充実した明聖祭を作り上げてほしいと思います。



明聖祭 総合優勝



明聖祭
球技の部

12月12日(火) 千葉ポートアリーナにて明聖祭球技の部が行われました。球技の部は学年の枠を超え、一同に集まる行事です。例年通り競技種目は、クラス全員が参加するドッジボール(男子・女子)、クラス選抜メンバーが参加するバスケットボール(男子・女子)、フットサル(男女混合)の3種目です。各競技の優勝・準優勝、最優秀選手賞に加え、球技の部総合優勝を設けています。各クラスが勝利を目指し、熱戦が繰り広げられました。11クラスを3つのリーグに分け、総当たり戦で予選を行います。

また、実行委員によって大会を運営し、試合のコートの準備や試合結果の記録、試合前に招集するアナウンス等、生徒主体で行っていただきました。

◎ドッジボール
【女子】

それぞれのリーグから全勝で勝ち上がった3・3・3・3・2、2・2の3チームで優勝争いをしました。決勝は3年生対決となりどちらが優勝してもおかしくない戦いが見られました。どちらも団結力を見せる中、終盤の怒涛の攻撃で3・3が優勝に輝きました。

優勝 3・3
準優勝 3・2



ドッジボール

最優秀選手賞

3・3 大沢 佐奈

私のクラスはバスケットボールとトッジボールの両方で優勝することができて嬉しかったです。3年3組で良かったと思います。

【男子】

予選で全勝の3・2、2・2、接戦をかくぐつてきた1・1の3チームが各リーグを勝ち上がりました。決勝は、まさに力と力の勝負。迫力ある投げ合いとなりました。3年生の迫力に屈することなく、積極的に1・1が攻め込みました。序盤はどちらが勝つか分からぬハラハラする攻防を繰り返していききました。パスを回し、チームプレーを発揮した1・1が最終的に優勝を勝ち取りました。1年生は初めての球技大会でしたが笑顔で楽しんでいる様子が見られました。



最優秀選手賞

1・1 上島 颯人

3年生は最後の球技大会ということもあって、勢いがすごかったです。皆で全力を尽くし、楽しく勝つことができ、良い思い出になりました。



◎バスケットボール【女子】

予選からどのクラスが優勝してもおかしくない試合が多くありました。その中でも圧倒的な得点力の3・1と、3・3が決勝で戦いました。トッジボール同様、3年生対決となりましたが、両者とも抜群の団結力を見せていました。どちらも譲らず、白熱した戦いが続きましたが、攻撃回数が多かった3・3がこの決勝を制しました。



最優秀選手賞

3・3 渡邊 花梨

3年生は最後の球技大会で、「絶対」に勝とう!!と皆で言っていたので、優勝できて良かったです。良い思い出ができました。

【男子】

予選では、どの試合も見所満載で、白熱した試合が行われました。決勝は予選全勝の2・2と1・4の対決です。

2・2は速攻で流れるように得点を重ねます。

1・4は流れを引き寄せようとシュートを打つもののリングに嫌われてしまい、

ペースを作れないまま、試合巧者であり、リバウンドを制した2・2が勝利しました。



決まれ~!!

実行委員長のレイアップシュート



最優秀選手賞

2・2 齋藤 悠斗

久しぶりのバスケットボールだったので、動けるのが心配していたけど、思っていたよりも動くことができて良かったです。

優勝 2・2
準優勝 1・4



◎フットサル

フットサルは、サッカーとは異なり、攻守の入れ替わりが速い競技です。シュートを数多く打つても入らなったり、中には威力がないシュートが入ったりと、展開が読めない試合がありました。そんな中、決勝は、サッカー経験者がチームを引っ張る3・1と2・3の対決です。試合が始まると、両クラスとも強烈なシュートを打つもののゴールを捉えることができず、なかなか得点が決まらない展開となりました。そんな中、均衡を破ったのは2・3。強力なディフェンスをかくぐり貴重な1点を決め、これが決勝点となり2・3が勝利を収めました。

優勝 2・3
準優勝 3・1



総合優勝の3・3



最優秀選手賞

2・3 服部 二千翔

最優秀選手を受賞できると思わなかったけど、受賞できたのはクラスのチームのおかげです。3年生と戦い勝つことができ、チーム皆で頑張りました。来年も最優秀選手を受賞できるように、まずは優勝したいと思っています。

ドッジボール女子、バスケットボール女子の2冠を達成した3・3が総合優勝を飾りました。自分たちのクラスだけでなく、空き時間には、他クラスを応援する姿も見られました。フェアプレーに徹し、観ている気持ちの良い試合が多くありました。球技大会でより、クラスの団結力が高まったクラスもあることでしょう。来年

シュート!!



実行委員長

3・3 三國 武士

今まで実行委員長などをやることはなかったので、新鮮でした。球技の部の実行委員長を務めることができて良かったです。最高の思い出になりました。

も迫力ある球技大会にして欲しいものです。

初参加の中野キャンパスも加わった全校生徒



クリーンデー



本校では定期的に「クリーンデー」と称した地域清掃活動を実施しています。1月10日(水)、1月18日(木)に1年生が清掃を行いました。クラスごとに千葉中央駅方面、本千葉駅方面、千葉城方面などにわかれてゴミ拾いをしました。煙草の吸殻、燃えるゴミ、不燃物、空き缶、空きびんなどを分別しながら手際よく拾いました。普段はあまり気に留めないゴミに目を向けることで、今まで以上に美化意識を高めることができました。

真冬の寒さの中、初めはなかなかやる気の出なかった生徒も少しずつ積極的に動く姿が見られました。このボランティア活動を通して、地域に貢献することの気持ち良さを学び、奉仕の心を育むきっかけになればと思います。

今後取り組みを継続するとともに、学校生活や将来に繋げるように努めていってほしいです。



税と選挙に関する特別授業

特別授業



1月18日(木)と2月9日(金)に、全学年を対象に「税の視点から選挙を考える」特別授業を行いました。税金の大切さや若者の選挙への投票率の低さが問題になっていることを考えさせられる授業でした。

第一部の「税について考えよう」では、税金の種類や使い道を給与明細をもとにして説明がされました。特に「税金がもしなくなったら？」という内容のビデオ上映では、消防や救急道路整備や学校などが税金で成り立っていることを知り、税金に対する理解が深まりました。

第二部の「18歳からの選挙」では、平成28年6月から選挙権が18歳になった経緯などの説明を聞いた後、実際に3人の候補者の立会演説を聞き、模擬選挙を実施しました。模擬選挙では、本物の投票用紙と投票箱を用いて、開票作業も生徒たちと共に行いました。第一部で税の説明があったこともあり、税の使われ方に注目して、どの候補者の政策が良いのかよく考えて投票している様子が見られました。投票結果の票も大差なく、生徒たちが真剣に選挙に臨んだ結果が見受けられました。今回の授業をきっかけに今後一有権者として社会を理解し、参画してほしいと思います。



赤い羽根共同募金 活動報告

11月から12月にかけて生徒を中心に赤い羽根共同募金活動を行い、集まったお金は1月15日(月)に千葉市ハーモニープラザにて、千葉市社会福祉協議会の方にお届けしました。

仲の良い同級生と共に活動させていただき、更に知識や仲が深まったと思います。校外募金では笑顔が心がけました。明るい顔をして声を出すと、今から仕事へ行くために急いでいらつやる会社員の方も、「頑張ってるね」と声をかけて募金をしてくださいました。今の世の中も優しい方がたくさんいらつやるのだなと思います。福祉協議会の方を訪ねた時には様々なお話が聞けて、とても勉強になりました。来年度も「生懸命取り組みます。」(2・1 後出夏綺)

朝早くから、赤い羽根共同募金に協力してくれた後輩たちにとっても感謝しています。後輩達の協力がなく、私たち3年生だけではできなかったと思います。また、募金をしてくださった人達にも感謝しています。なぜなら、募金で助かる人達がいるからです。福祉協議会の方とお会いして、我々明聖高校だけではなく、様々な人の力があってこそ、赤い羽根共同募金が成立しているのだと



実感しました。最後に、私たち3年生が卒業しても、在校生と今年入学してくる後輩と協力して継続して欲しいと思います。(3・1 工藤大鷹)

編集後記

今号では明聖祭を中心にとりあげました。見事総合優勝に輝いた3年1組の皆さん、本当におめでとうございます。

さて、年度末もせまり3年生は卒業式、1、2年生は進級を迎える季節となりました。全学年今年度をしつかりと締めくくり、新たなスタートに備えましょう。

川口 寛人

